

# 平成25年度学校評価結果分析と改善方策（生徒）

岩手県立宮古工業高等学校

1 回収率 99.1% (214/216)

## 2 総評(全体の傾向)

- アンケート全項目の評価平均は、3.10となり判定はBであるが、かなり高い値となった。昨年度は評価平均が3.03であった。プラスの評価となった。  
特に「本校には、他校にはない特色がある」「修学旅行や校内球技大会等、学校行事で充実した有意義な体験ができています」「生活の規律（遅刻や服装、ルール・マナーなど）に関する指導が適切に行われている」「生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われている」「自分は、登下校の際、交通ルールを守っている」「自分は、清掃にきちんと取り組んでいる」「進路について考えさせる体験・講演等の機会を設けている」ではA判定となった。今後も継続した指導や対応に心がけていかなければならない。
- 特別活動等、生徒指導や進路指導の項目では、3.0以上を示しておりおおむね満足されていると判断できる。
- 評価4で「自分は、明るく生き生きと充実した学校生活を送っている」10名「本校に入学してよかった」15名「内容がわかりやすい授業が多い」14名「部活動に関係する施設・設備が十分である」21名いる。生徒が求めているものが昨年度よりも上がっていると考えられる。指導する側の質の向上が求められていると考える。

項目	番号	内 容	課 題	改 善 方 策 等
全体	1	学校の教育目標が説明されている。	B判定。おおよそ十分以上で79.4%である。ガイダンスを継続する。	ガイダンスの実施や教育目標のアナウンスをする。
	2	先生は、熱心に生徒の教育活動を行っている。	B判定。83.7%である。不十分と答えた生徒への対応が課題である。	個々に応じた指導の継続（課外授業等）
	3	先生は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれている。	B判定。77.1%である。相談できる雰囲気づくりが必要である。	生徒との信頼関係の確立、職員からの積極的に対話をする機会をつくる。
	4	自分は、明るく生き生きと充実した学校生活を送っている。	B判定。77.1%である。23%の生徒は目標持てず生活している。昨年度より低下している。	個々に応じた具体的かつ将来的な目標（進路・部活動・資格等）を早めに設定する指導。
	5	本校に入学してよかった。	B判定。71.5%である。不本意入学した生徒への指導が重要である。昨年度より低下している。	学校生活への不満の把握と個々に応じた支援・目標のアドバイス
	6	日課（授業の開始時間、終了時間等）は適当である。	B判定。87.5%の生徒は適当と感じている。	継続
	7	本校には、他校にない特色がある。	A判定。86.0%でおおむね良好である。	体験入学や各種発表会の成果、生徒の本校への誇り・プライドが出始めている。
学習	8	内容がわかりやすい授業が多い。	B判定。64.9%の生徒である。やや不十分・不十分の生徒が75名いる。わかりやすい授業。	職員の指導法の工夫と見直し。（教材研究等）基礎基本の確立生徒の学習能力の把握
	9	学習の遅れがちな生徒にも親切に指導してくれる。	B判定。71.1%で、不十分生徒への対応を考慮しなければならない。	個々に応じた指導、学び直し指導、基礎学力の定着。
	10	多くの先生は、教材や教え方に様々な工夫をしてくれる。	B判定。74.7%である。満足していない生徒も多い。	研修の充実（研究授業や授業法の情報交換）
特別活動等	11	ホームルーム活動は、クラス全体で自主的に取り組み、活発に行われている。	B判定。74.8%で、54名が不十分。中間層の生徒が多い。	活動の目的と意義を理解させ、生徒が自ら考え、取り組む雰囲気づくりと工夫への助言
	12	生徒会活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い。	B判定。74.7%。生徒会執行部は意欲的に取り組んでいる。昨年度より上昇した。	生徒会執行部の生徒と一般生徒との融合がみられ始めている。生徒総会でのより活発な議論。
	13	修学旅行や校内球技大会等、学校行事で充実した有意義な体験ができています。	A判定。89.7%で生徒は有意義と感じている。	行事の目的周知させ、よりよい内容と運営方法の充実を図る。
	14	性教育・薬物乱用防止講話など、命や人権を大切に教育が積極的に行われている。	B判定。87.3%である。おおむね良好と感じている。	継続指導
	15	ゴミ拾いや老人ホーム訪問など環境や福祉などに関するボランティア活動が活発に行われている。	B判定。評価が2.89から3.14へ、さらに81.7%がおおよそ十分以上になっている。	津軽石川原清掃の継続、ボランティア委員会の充実
	16	部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多く、活動は活発である。	B判定。81.3%で熱心に取り組んでいる。40人がやや不十分・不十分。	顧問と生徒の密接な信頼関係構築。部活動の意義や大切さ指導
	17	部活動に関係する施設・設備は十分である。	B判定。69.7%で十分・おおよそ十分。不十分が全項目中で最大値の9.81。	予算の問題なので継続的な県への依頼
生徒指導	18	生活の規律（遅刻や服装、ルール・マナーなど）に関する指導が適切に行われている。	A判定。88.8%で概ね適切であると感じている。	継続指導規範意識や規範意識の高揚
	19	生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われている。	A判定。89.7%で概ね良好である。	継続指導
	20	先生は、「良いことは良い、悪いことは悪い」ときちんと指導している。	B判定。84.2%で概ね良好である。	継続指導職員の意識統一（ブレのない指導）
	21	自分は、礼儀正しい生活をしている。	B判定。85.9%で概ね良好である。	継続指導あいさつは定着している
	22	自分は、服装・頭髪規定を守っている。	B判定。83.2%で守られている。	継続指導規律遵守の重要性指導
	23	自分は、登下校の際、交通ルールを守っている。	A判定。91.6%で守られている。	継続指導（交通安全講話・登校指導の実施）
	24	自分は、清掃にきちんと取り組んでいる。	A判定。93.0%でよく取り組んでいる。	継続指導校舎の愛護指導（汚さないこと指導）
進路指導	25	学校は、進路に関する情報をよく提供してくれている。	B判定。85.1%で高い評価をしている。	各学年に応じた資料提供提供情報の活用指導
	26	進路について考えさせる体験・講演等の機会を設けている。	A判定。88.3%で高い評価をしている。	継続低学年からの段階的な講演会等の実施
	27	将来の生き方や進路に関しての指導・面談が十分に行われている。	B判定。83.6%でAに近い評価をしている。	段階的な進路指導、進路に関する個人面談の実
その他	28	学校は、保護者（親）と情報交換し、話し合う機会を設けている。	B判定。79.0%で不足しているが、保護者との関係は良好である。	学級通信の発行等、家庭との連携を密にする。
	29	学校から家庭への連絡や情報提供はきめ細かい。	B判定。75.7%でやや不足していると感じている	色々な配布物で学校から情報発信する。一斉メールで情報を提供する。
	30	施設や設備は充実している。	B判定。78.5%で概ね満足している。	要望の把握
	31	教室、校舎、校庭の美化・清掃は行き届いている。	B判定。80.3%で概ね良好である。	美化強化指導